女川原子力発電所１号機の廃止措置の状況
（ 令和 8 年 9 月分 ）

１．廃止措置工程

計画：　　実績：

作業項目	解体工事準備期間（令和2年度～令和9年度）		原子炉領域周辺設備解体撤去期間（令和10年度～令和16年度）
	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	2026年度	2027年度	2028年度
核燃料物質の搬出			
汚染状況の調査			
核燃料物質による汚染の除去			
設備の解体撤去			

（特記事項）
・本工程は，工事の実施状況，検討・評価状況等により変更となる可能性がある。

２．核燃料物質の搬出

（単位：体）

貯蔵場所		種類	1号炉の核燃料物質			
			貯蔵量（前月末）	搬入量※1	搬出量※1,2	貯蔵量（当月末）
1号炉	使用済燃料プール	使用済燃料	374		0	374
		新燃料	40		0	40
	新燃料貯蔵庫	新燃料	1	0	0	1
2号炉	使用済燃料プール	使用済燃料	95		0	95
3号炉	使用済燃料プール	使用済燃料	513	0	0	513

※1　作業状況により，1号炉からの搬出量と，3号炉への搬入量が合わない場合がある。
※2　再処理事業者または加工事業者への譲渡しを含む。

（特記事項）
・核燃料物質（新燃料）の搬出工程を検討中。（R2/8/3～）
・使用済燃料号機間移送作業（1号使用済燃料プールから3号使用済燃料プールへの搬出）を実施中。（R6/6/17～R9/9）
　8×8燃料：令和7年1月14日に実移送を開始し，令和8年6月30日に425体移送完了。
　9×9燃料：令和8年8月17日に実移送を開始し，令和9年9月までに移送完了予定。

３．汚染状況の調査

作業内容	作業期間	当月末時点の状況
解体廃棄物量評価方法の検討	R2/9/1 ～	解体廃棄物量の詳細評価方法を検討中
原子炉周囲の放射化評価	R6/11/5 ～ R8/10/26	原子炉周囲の放射化評価を実施中
解体廃棄物量評価（原子炉建屋，放射性廃棄物処理建屋および制御建屋内のケーブル等）	R7/8/25 ～ R8/10/2	解体廃棄物量の評価を実施中

（特記事項）
・「原子炉周囲の放射化評価」は，原子炉圧力容器，原子炉格納容器などの各機器の放射能濃度を計算・評価するもの。
・「解体廃棄物量評価（原子炉建屋，放射性廃棄物処理建屋および制御建屋内のケーブル等）」は，原子炉建屋，放射性廃棄物処理建屋および制御建屋内のケーブルおよび各建屋に設置している配管等の解体廃棄物量を評価するもの。

４．核燃料物質による汚染の除去

作業内容	作業期間	当月末時点の状況
除染箇所，除染方法の検討	R2/12/15 ～	除染箇所，除染方法を検討中

（特記事項）
・なし。

５．設備の解体撤去

（１）管理区域内設備の解体撤去工事の状況

設備名称	作業期間	現在の状況
―	―	―

（特記事項）
・なし。

（２）管理区域外設備の解体撤去工事の状況

設備名称	作業期間	現在の状況
管理区域外設備	R2/8/3 ～	管理区域外設備の解体範囲を検討中

（特記事項）
・なし。

（３）解体撤去物の処分量

（単位：ｔ）

レベル区分		当月	累計
低レベル放射性廃棄物	Ｌ１	―	―
	Ｌ２	―	―
	Ｌ３	―	―
放射性廃棄物として扱う必要のないもの（クリアランス）		―	―
放射性廃棄物でない廃棄物（管理区域外設備の解体撤去物を含む）		0	1335
合計		0	1335

（特記事項）
・最終処分が完了した解体撤去物の処分量を記載している。
・解体撤去物の処分量は小数点以下第1位を四捨五入した値である。
（四捨五入の関係で，合計値・累計値が合わない場合がある。）
・解体撤去物は全て管理区域外設備の解体工事によるものであり，産業廃棄物または有価物として処分している。

６．今後の予定

【継続実施】

・核燃料物質（新燃料）搬出工程検討
・使用済燃料号機間移送作業（1号使用済燃料プールから3号使用済燃料プールへの搬出）
・解体廃棄物量評価方法の検討
・原子炉周囲の放射化評価
・解体廃棄物量評価（原子炉建屋，放射性廃棄物処理建屋および制御建屋内のケーブル等）
・除染箇所，除染方法の検討
・管理区域外設備の解体範囲検討

【新規着手】

・循環水ポンプ室・逆洗弁ピット内設備解体工事（R8/11着手予定）

７．その他

なし。

以　上